

# 委託事業実施内容報告書

## 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語指導者養成】

受託団体名 特定非営利活動法人 実用日本語教育推進協会

#### 1 事業の趣旨・目的

これまで、日本語を学びたい外国人にとっての選択肢は、高いお金を払ってプロに学ぶか、ボランティア日本語教室などで、非効率ではあるが、ボランティアに学ぶか、の二者択一しかなかったが、この講座ではそのいずれでもない、日本語教育の専門家ではないが教え方のノウハウを身に付けたインストラクターという新しいタイプの日本語支援者の育成を目指している。専門的知識を持ったプロ教師とは違う、また交流に主眼をおく日本語ボランティア支援者とも違う「日本語をシステムティックにきちんと教えられる」インストラクター（有償・無償を問わず）の養成がこの事業の目的である。

#### 2 企画委員会の開催について

##### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月16日	海外移住と文化の交流センター	高畑笙子 柿原美由紀 浅田まり	・募集内容詳細について ・講座内容1回目の検討 ・実習内容の検討	・募集先名簿、チラシ、ポスター、会場案内図等の作成 ・第1回レジュメ、マニュアル作成 ・実習案内作成
6月13日	海外移住と文化の交流センター	高畑笙子 柿原美由紀 浅田まり	・1回目講座の報告と反省 ・講座内容2回目の検討 ・実習準備、スケジュールについて	・第2回レジュメ・マニュアル作成 ・受講者名簿作成、 ・実習担当講師決定 ・実習日程作成
7月25日	海外移住と文化の交流センター	浅田まり 慶野法子 服部和子	・第2クール以降の募集詳細について ・講座3回目追加の検討 ・実習についての反省 ・認定試験内容について	・募集先を含めた案内リスト作成 ・講座3回目の外国人との実習マニュアル作成 ・認定基準の作成 ・試験不合格の際の対応
9月12日	海外移住と文化の交流センター	高畑笙子 浅田まり 慶野法子	・第2クール、1回目講座報告と反省 ・2回目、3回目講座について ・第2クール実習について	・講座3回目レジュメ作成 ・実習スケジュール及び、担当講師の決定 ・認定試験までの手順作成

9月26日	海外移住と文化の交流センター	柿原美由紀 浅田まり 服部和子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティア団体への働きかけ・連携の準備</li> <li>・インストラクター登録関連ファイル類の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体案内リスト、団体案内チラシ作成</li> <li>・インストラクター説明書、認定証、登録証、合意書作成</li> </ul>
2011年 1月9日	海外移住と文化の交流センター	浅田まり 慶野法子 服部和子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2クール反省と第3クール準備</li> <li>・登録インストラクターについて</li> <li>・インストラクターの活動先について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習スケジュール及び、担当講師の決定</li> <li>・インストラクター名簿作成</li> <li>・プライベートレッスン、企業内日本語教室の検討</li> </ul>

#### 【写真】



【指導者養成 企画会議】

### 3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名:インストラクター養成講座
- (2) 養成講座の目標:THANK's のテキストと指導書を使って、短時間(週1回1~2時間の学習時間など)の学習時間でも、初級外国人にきちんと日本語会話の指導ができるインストラクターを育てる。
- (3) 受講者の総数:24人  
(出身・国籍別内訳:日本人 24人)
- (4) 開催時間数(回数):64時間 (32回)
- (5) 参加対象者の要件:ボランティア経験者、未経験者を問わず、外国人に日本語初級会話をきちんと教えられようになりたいという意志がある人
- (6) 受講者の募集方法:  
ポスター掲示、チラシ配布、THANK's 会報への掲載

内容報告書添付資料①インストラクター養成講座募集チラシ

内容報告書添付資料②THANK's 会報「かもめ9号」

- (7) 研修会場 レクチャー:海外移住と文化の交流センター  
 (8) 使用した教材・リソース:『THANK's 教えやすい・学びやすい初級会話テキスト』  
 『同 指導書』

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
6月12日 9月4日 1月15日 10:30~12:30	会話テキスト・指導書を使った効果的な指導法	NPO 法人実用日本語教育推進協会 理事長: 高畑笙子 理事:慶野法子、服部和子	24名
6月26日 9月18日 1月22日 10:30~12:30	教えるための重要なポイント 音声・表記の教え方	神戸学院大学日本語非常勤講師 NPO 法人実用日本語教育推進協会 副理事長 浅田まり 理事:服部和子	24名
10月2日 1月29日 10:30~12:30	外国人との実習、事前指導	NPO 法人実用日本語教育推進協会 理事:服部和子、慶野法子	24名

6月14日~8月23日 9月6日~11月8日 1月10日~3月14日 11:00~13:00	講師が指導しながら、各受講生がそれぞれ8回の外国人との実習を行う。実習中・実習後に講師からアドバイスをを行う	THANK's 実習担当講師 高畑笙子、慶野法子、服部和子、浅田まり、遠山和子、鈴木庸子、大崎桂子、矢野智恵子、安田尚子、矢野彩子、野村登美子、池田史津子	24名
---	--	--	-----

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

インストラクター養成講座はどうでしたか

- ・よかったです。もう少し回数があってもいいと思います。
- ・とてもためになった。実践的。すぐに使える。
- ・インストラクターとして気をつけるポイントが分かってよかった。
- ・少々経験があったので、理解しやすかった。
- ・実用的、具体的で大変良心的な内容でした。
- ・とても勉強になりました。

- ・今まで勉強したことの振り返りにもなり、とても勉強になりました。
- ・とてもよかったです。回数をもっとあった方がうれしいです。(先生方はお忙しいでしょうが)
- ・とても復習になりました(入門・初級講座で忘れていたことが多々あり)
- ・とても分かりやすかったです。
- ・楽しく参加させていただきました。
- ・勉強は何度しても新しい発見があるので、楽しいものです。一度学習の済んだことでも繰り返すことで、知識の積み重ねにつながるの、私には非常に効果的でした。

### 実習はどうでしたか

- ・ある程度同じ学習者とやりたいと思います。いろんな相手と学習することによって教える方も勉強になる部分がありますが。
- ・いろんな生徒さんに出会える。
- ・いろいろな個性のある学習者にあたって自分自身の勉強になる。
- ・実践を通して学ぶことができている。
- ・楽しくて勉強になります。
- ・事前にマッチングの相手の情報をいただけるので、準備期間がもてて安心です。
- ・教えるということはとても難しいです。実習では学習者をお手伝いすることを心掛けていますが、様々な学習者がいて、勉強になりました。
- ・初対面の学習者さんの場合、少しとまどうこともありますが、レッスン終了後、先生方のアドバイスで反省しきりです。
- ・初めての人はレベルが分からないので、教えるのに戸惑いがある。
- ・教わることばかりです。
- ・日ごろボランティア教室でやっていることと変わらないレッスンとはいえ、THANK's method を忠実に実践するのは大変、いつもひやひやものです。
- ・毎回必ず、うまくできるといいなあと思います。

### ② 実施主体からの研修内容結果評価

実習報告書の講師によるコメント

→内容報告書添付資料③インストラクター実習報告書抜粋(2枚)

認定試験により結果を点数化して評価

→内容報告書添付資料④インストラクター認定試験評価用紙(2枚)

### ③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

にほんご交流サロン御影に加え、2011年度より、にほんご交流サロン元町の開催を計画している。(文化庁23年度の委託が受けられれば)インストラクターを50名まで増やして、質の高い日本語学習が受けられる日本語レッスンの場の提供ができるようになる。

また、新しく誕生したインストラクターによる、リーズナブルな費用でのプライベート日本語レッスンの開催も考えていく予定である。

#### (11) 事業の成果

##### ① 他事業との連携

NPO法人グローバルプロジェクト推進機構(JEARN)など、きちんと日本語会話が教えられる支援者を必要としているNPO法人などにインストラクターを紹介し、日本語教室を共催している。

##### ② 研修後の人材活用

- ・当協会主催の外国人と日本人の交流サロンが2011年度より御影と元町の2か所になる。そこに来る外国人へのマンツーマンレッスンをインストラクター養成講座修了生が実施・当協会に依頼があったプライベートレッスンを担当、有償ボランティアとしてシステマティックな日本語レッスンを行う。(既に1名が開始)
- 添付資料「かもめ9号参照」
- ・企業内日本語教室の開催に向けて、外国人の在籍している企業へインストラクターによる日本語レッスンを働きかけていく。

#### (12) 今後の課題

プロではないが、個人レッスンを担当して、初級外国人にシステマティックに日本語指導ができるインストラクターが誕生している。インストラクターの活躍の場として、神戸近隣の中小企業などに勤務し、日本語学習の機会が少ない外国人に対し、企業内で就労後、昼食時などを利用しての企業内日本語教室開催を考えている。日本語支援に協力的な企業に対して働きかけて行きたいが、情報が少なく、また個々の労働者に対する企業の理解も十分ではない。公的な機関との連携などを模索している。